

第3学年国語科学習指導案

日時	平成18年11月2日(木)
対象	3年1組 男11名女14名計25名 3年2組 男10名女14名計24名
指導者	1組 千葉 恵悦 2組 菅原 和香子

- 1 単元名 大事なことをたしかめよう
教材名 すがたをかえる大豆
食べ物がかせになろう / 本で調べる (光村図書3年下「あおぞら」)

2 単元について

(1) 教材について

第3学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」ことである。本教材の読解においては、「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を読むこと(イ)」「目的に応じて内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら文章を読むこと(オ)」が、学年の目標に直結する指導内容である。

同じく「書くこと」の目標は、「相手や目的に応じ、調べた事などが伝わるように、段落相互の関係を工夫して文章を書くことができるようにするとともに、適切に表現しようとする態度を育てる。」ことである。本単元においては、「書く必要のある事柄を収集したり選択したりすること。(イ)」「書こうとする事柄の中心を明確にしながら、段落と段落との続き方に注意して書くこと。(エ)」が、書くことのために育てるための指導事項となる。

本単元「大事なことをたしかめよう」は、説明文教材を段落や中心語句などに注意しながら読み取る学習と、教材文の内容を参考に、自分で調べたいものを選んでそれに関する情報を集め文章にまとめる学習から構成されている。

教材「すがたをかえる大豆」は、身の回りにたくさんある大豆やその加工食品について書かれたもので、内容的には子どもたちに身近なものである。ただ、大豆の加工食品は、見ただけでは大豆からできているとは思われないものも多いため、児童に意外性を持って知る喜びを与える内容でもある。形式的には、9つの段落からなり、話題提示、事例、まとめ、という構成の解説型説明文である。一つ目に学習した説明文「ありの行列」が、仮説 検証型の文章構成であったことから、両者を比較しながら文章の特徴などを押さえることができる。また、段落構成や中心語句・中心文等も明確であることから、段落相互の関係を考えながら文章全体の内容を把握するのにも適した教材である。したがって、その後の書く活動の良い参考例ともなる。

「食べ物がかせになろう」は、読みの学習を通して身につけた力をもとに、身近な食べ物について疑問に思ったことや興味を持った事柄をさまざまな本で調べ、集めた情報を文章にまとめる学習である。これは、今後の国語学習だけでなく、総合的な学習の時間等、情報活用の基礎となる力を育成するためにも重要な学習である。

(2) 児童について

これまでに、3年生の「読むこと」の学習として、「きつつきの商売」では、場面の移り変わりや情景を想像しながら読むという活動を行った。また、「ありの行列」では、はじめて「段落」という概念を学び、まとめ(段落)に気をつけて読み、内容をとらえる学習を行った。さらに「三年とうげ」では、読み取った内容について自分の考えをまとめるという活動を行ってきた。

これらの学習を通し、大事な言葉に着目したり、段落のまとまりを意識したりして、文章を読み取ろうという気持ちが育ってきている。しかし、叙述に即して正しく読む力には、個人差が大きく、中には、文章から外れ、自分の興味や推測、直感で読もうとする児童もいる。さらに、接続語や文末表現等、言語事項についての理解が十分でない児童も少なくない。

正しく読み取るための一人学びとして、重要な語句や文に線を引いたり、視写や書き込みをしたり書く活動を取り入れているが、書くことへの能力差は大きく、書くことへの抵抗を示す児童もいる。

自力解決の内容を伝え合い、互いに学び合う活動については、自分の考えに自信の持てない児童も少なくなく、限られた児童の発言に左右されてしまうこともある。また、取りかかるまで時間がかかってしま

い、自分の考えをもてないでしまう児童も見受けられる。

「書くこと」については、「おもしろいもの、見つけた」の学習で、収集した事柄を相互の関係を考えながら段落に分けて書くという活動を行った。発見メモや構成表を活用することにより、ほとんどの児童が「発見したものをみんなに知らせる文」を書くことができた。しかし、知らせたいことが相手によく伝わるよう工夫して書ける児童は限られている。

事前調査の結果、ほとんどの児童は「大豆を知っている」と答えている。しかし、「見たことがない」と答えた児童も30%程度いた。また、知っているのは名前だけという児童も少なくなかった。また、知っていることとして、「納豆が大豆から作られている」「豆腐が大豆でできている」ことが多かった。しかし、他にも様々な食品に加工されているということを知っている児童は、ほとんどいなかった。

(3) 指導について

指導にあたっては、まず初めに、単元全体のねらいを知らせるとともに学習の見通しをしっかりとめたい。学習のゴールを「食べ物がかせになろう(食べ物について本で調べ、分かったことを学級のみんなに知らせる)」とし、そのことを目指して学習を進めていくよう意欲付けをしたい。また、大豆について具体的なことを知っている児童が少ないという実態から、大豆の実物を見せたり触れさせたりすることで、これから学習する大豆についての関心を高めたい。さらに、写真や挿絵を活用し、本文と対応させながら理解を深めていきたい。

1学期の教材「ありの行列」では、“段落の中で中心となる文や大事な言葉に気をつけると内容がとらえやすい”ということを学んだ。そこで学習したことを生かしながら、本教材でも、読み取ったことをまとめる活動を行っていききたい。その際、「おいしく食べるためにどのようにふうをしているのか。」等、読み取ったことをまとめる観点をはっきりさせるとともに、文末表現なども押さえながら読み進めていきたい。また、叙述に即して内容を正しく読み取らせるため、指示語や接続語にも着目させ、それらはたらきと事柄を結びつけて考えさせながら論旨の展開を押さえたい。また、下位の児童にも分かりやすいように、全文を書き写した模造紙を用意し、一緒に確認作業を行っていききたい。

一人学びでは、「おいしく食べるためのくふう」が書かれている文にサイドラインを引く活動、食品を抽出する活動、表に整理する活動等を行う。その後の学び合いでは、一人学びを生かしながら話し合いが深まるよう、伝え合う活動の場や活動のさせ方を工夫したい。ペア学習やグループ学習の場面では、話し合いの観点を明確に提示する。全体での話し合いの場面では、意図的に指名し、多くの児童の反応を求め、全員参加の話し合いを目指したい。その際、論理的な面ばかり追及すると、ますます自信を持てなくなる児童もいるかと思われる。そこで、事実に対する感想を求めたり、経験を話させたりして意欲が持続できるよう配慮したい。

「読むこと」の学習の最後に、それぞれの段落の小見出しを考え、文章構成を確認するという活動を位置づける。これは、前時までのまとめの学習であるとともに、その後の「食べ物がかせになろう」(書くこと)の学習をする上で、大変重要となる活動でもある。そのことを児童にも意識付けながら指導にあたっていききたい。

「食べ物がかせになろう」の学習では、「調べることをきめる」「本を探す」「本の中から調べたい事柄を選び出す」「必要な事柄を書き出す」「文章の構成を考える」「文章にまとめる」等細かいステップで指導を行っていききたい。特に、構成を考え、文章にまとめる活動では、「すがたをかえる大豆」で学んだことが生かされるよう意識して指導していききたい。

3 単元目標

(1) 主目標

身近な食べ物についての知識を得るとともに興味を広げる。

中心となる語や文、段落相互の関係について注意して文章を読む。

本での調べ方を知り、身近な食べ物について調べ、分かりやすくまとめて友達と交流する。

(2) 観点別目標

食べ物について書かれた読み物や図鑑などを、興味を持って読もうとする。(関)

伝えたいことが明確になるように、段落相互の関係に注意して書こうとする。(関)

中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章の内容を正しく読み取ることができる。

(読イオ)

身近な食べ物について、情報を収集したり取舍選択したりし、段落に分けて文章にまとめることができる。(書イエ)

文章全体における段落の役割を理解することができる。(言オ)

4 単元の指導計画・評価計画（総時数 18時間）

主な学習活動 （時数）	評価規準 （方法）	具体的評価規準及び指導・支援の手立て		
		A：十分満足できると判断する視点	B：おおむね満足できると判断する視点	C：努力を要する児童への指導・支援の手立て
1 - 単元のねらいを知り、学習の見通しをもつ。 （1）	関 関心を持って教材文を読み、学習のめあてや見通しを持っている。 （発言・ノート・自己評価）	大豆やこれからの学習に関心を持ち、知っていることや感想を進んで話したり書いたりしている。	大豆について関心を持ち、感想を書いている。	実物の大豆に触れさせたり、写真や挿絵を活用したりしながら、学習を進める。また、事前のアンケートをもとに、経験や感想を話させる。
1 - 難語句の意味調べをする。 （1）	言 難語句の意味を公表したり、調べたりしている。 （発言・観察）	難語句の意味を文脈や熟語の成り立ちから推測したり、辞典を使って進んで調べたりしている。	難語句の意味を辞典を使って自分で調べている。	国語辞典の使い方を思い出させ、個別に指導する。
1 - 文章を3つのまとまりに分け、学習計画を立てる。 （1）	読 意味段落ごとに、学習課題を考えている。 言 「始め」「中」「終わり」という文章構成に気づいている。 （発言・自己評価）	意味段落に分け、それぞれにふさわしい学習課題を進んで考えている。	自分なりの考えで意味段落に分け、学習課題を考えている。	「ありの行列」で学んだ段落や文章構成について思い出させ、それをもとに意味段落を考えさせる。
2 - 筆者の提示した話題について読み取る。 （1）	読 筆者の提示した話題について読み取っている。 （発言・ノート・自己評価）	大豆とは何か、なぜ工夫が必要かということについて、読み取ったことを自力で分かりやすくまとめている。	大豆とは何か、なぜ工夫が必要かということについて、読み取ったことを板書をもとにまとめている。	読み取る観点をはっきり示し、そのことが書いてある文を見つけさせる。教材文を提示し、一緒に確認作業を行いながら読み取らせていく。
2 - おいしく食べる工夫の事例を読み取る。 （2）	読 おいしく食べる工夫や食品について正しく読み取っている。 （発言・ノート・自己評価）	おいしく食べる工夫や食品について表に整理し、自力で分かりやすく書きまとめている。	おいしく食べる工夫や食品について表に整理し、大事な言葉を落とさずに書きまとめている。	接続語に着目させ、工夫がいくつあるかを押さえる。表に整理する際は、3段落目は学級全体で行い、個別の作業に入る。写真や挿絵も活用する。一人学びの後、ペア学習を行う。

<p>2 - まとめを読み取る。 (1)</p>	<p>読 大豆のよさや筆者の感想について読み取っている。 (発言・ノート・自己評価)</p>	<p>大豆のよさや筆者の感想について分かりやすく、書きまとめるとともに、自分の感想も持っている。</p>	<p>大豆のよさや筆者の感想について、大事な言葉を落とさずに書きまとめている。</p>	<p>文章構成を確認し、「まとめ」の段落の役割を理解させる。読み取る観点をはっきり示すとともに、接続語や文末表現にも着目させる。板書を手がかりにまとめさせる。</p>
<p>2 - 小見出しを考え文章の構成を確認する。 (1) 〔本時〕</p>	<p>読 言 段落ごとに、書かれている内容に合った小見出しをつけている。 (発言・ノート・構成表・自己評価)</p>	<p>形式段落ごとに内容に合った小見出しを考え、進んで発言している。</p>	<p>形式段落ごとに内容に合った小見出しを考えている。</p>	<p>前時までの学習を振り返り、段落ごとに書かれている内容を確認する。一人学びの前に小見出しのつけ方を全員で確認する。また、一人学びの後、グループ学習を設定する。</p>
<p>3 - 「食べ物がかせになろう」を読み、学習の進め方を確認する。 (1)</p>	<p>関 教材文を読み、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。 (発言・自己評価)</p>		<p>「食べ物がかせになろう」の学習に関心を持ち、進んで発言している。</p>	<p>「すがたをかえる大豆」の学習を振り返るとともに、「おもしろいもの、みつけた」(1学期単元)で書いた個々の作文の良さや、その学習を通して身につけた力についてふれながら、これからの学習の意欲付けを行う。</p>
<p>4 - 調べることを決める。 (1)</p>	<p>関・書 調べる食べ物を選び、調べることを書き出している。 (発言・ノート・自己評価)</p>	<p>調べる食べ物を選び、知りたいことや疑問に思うことを進んで書き出している。</p>	<p>調べる食べ物を選び、調べることを書き出している。</p>	<p>ウェビングの手法を用いて考えさせ、その中から調べたい食べ物や調べたいことを決めるよう助言する。</p>
<p>4 - 調べ方を学ぶ。 (1)</p>	<p>読 「本で調べる」を読み、本の探し方や目次・索引の活用の仕方を理解している。 (発言・辞書等の活用・自己評価)</p>	<p>本の探し方や目次・索引の活用の仕方を理解し、進んで調べている。</p>	<p>本の探し方や目次・索引の活用の仕方を理解している。</p>	<p>事典や図鑑・単行本・シリーズ等を準備し、実際に目次や索引を用いた検索の練習を通して、本で調べる方法を理解できるようにさせる。</p>
<p>4 - 本で調べ、調べたことを書き出す。 (2)</p>	<p>書 本を探し、調べ、大事なことを書き出している。友達の発表を。 (調査メモ)</p>	<p>調査メモの項目に従って調べ、大事なことを分かりやすく整理して書き出している。</p>	<p>調査メモに従って調べ、大事なことを落とさずに書き出している。</p>	<p>教科書の例を使って、調査項目や収集・整理の仕方等を確認する。</p>

<p>4 まとめ方を学ぶ。 (1)</p>	<p>読 調べたことの整理の仕方や文章にまとめる方法を理解している。 (発言・ノート)</p>	<p>調べたことを構成表に整理する方法や文章にまとめる方法を理解し、モデル作文の構成を構想している。</p>	<p>調べたことを構成表に整理する方法や文章にまとめる方法を理解している。</p>	<p>調査メモやまとめの作文のモデルを示して確認することを通して、整理の仕方やまとめ方が理解できるようにさせる。</p>
<p>4 構成表を作り、文章にまとめる。 (2)</p>	<p>書 調査メモをもとに、文章構成を構想し、文章にまとめている。 (構成表・作品・自己評価)</p>	<p>調査メモをもとに、必要な情報を整理・選択しながら構成表を作り、読み手を意識して分かりやすく文章にまとめている。</p>	<p>調査メモをもとに、必要な情報を整理・選択しながら構成表を作り、段落に分けて文章にまとめている。</p>	<p>調査メモをもとに情報を整理・選択する方法を確認する。また、段落や段落相互の関係を意識させるために、構成表を作成させ、それをもとに、文章を書かせる。「すがたをかえる大豆」の小見出しや構成等も活用する。</p>
<p>4 書いた文章を推敲する。 (1)</p>	<p>書 誤字脱字や段落、主述の整合、難しい言葉などに気をつけて、推敲している。 (観察・作品・自己評価)</p>		<p>誤字脱字などを直すとともに、難しい言葉を書き換えたり、説明を加えたりしている。</p>	<p>推敲の観点や具体例を示す。個別に対応する。</p>
<p>5 書き上げた文章を読みあう。 (1)</p>	<p>読 友達の文章の良さに気づき、相互評価カードに記述している。 (相互評価カード)</p>	<p>観点にしたがって友達の文章を評価するとともに、良さを見つけ、より具体的にコメントを書いている。</p>	<p>観点にしたがって友達の文章を評価するとともに、良さを見つけ、コメントを書いている。</p>	<p>評価の観点を示した相互評価カードを準備するとともに、よさに目を向けるよう助言する。</p>

5 本時の指導（1組） 8時間/18時間

(1) 目標

段落ごとに、書かれている内容に合った小見出しを付けることができる。

(2) 仮説との関連

<手立て1に関わって>

- ・一人学びでは、自分なりに小見出しをつけられるように、段落の中心文や全体で学習した事項をもとに考えさせる。
- ・学び合いでは、「短く」「書かれている内容に合った」小見出しを考える、という観点でペア学習を取り入れる。自分の考えとの共通点や相違点に気づかせながら、個々の学びを交流できるように支援したい。

<手立て2に関わって>

「読むこと」の学習のまとめとして、段落の小見出しをつけ、構成表を作成させる。文章全体の構成を確認することで、その後の「書くこと」の学習につなげていきたい。

(3) 展開

段階	学習活動 主発問・予想される児童の反応	教師の支援（評価）
つ か む (3)	<p>1 前時までの学習内容を想起する。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 段落ごとに、小見出しをつけ、文章のまとまりを考えよう </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・壁面掲示を活用し、今までの学習内容を想起させる。 ・「小見出し」とは何か確かめる。 ・本時は各段落の内容に合った小見出しをつけるのだ、ということを確認し、学習の見通しを持たせる。 ・次の「食べ物はおかせになろう」につながる重要な学習であるということ話し、意欲付けをする。
ふ か め る (37)	<p>3 課題解決の見通しを持つ。</p> <p>(1) 全文を音読する。 (指名読み)</p> <p>(2) 課題解決のための着眼点を考える。 段落には、どんなことが書かれていましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豆をその形のままいたり、にたりして、やわらかくおいしくするくふうです。 ・大豆をその形のままいたり煮たりすると、豆まきにつかう豆やに豆になるということです。 段落の小見出しを考えましょう。 ・大豆をいったり、にたりするくふう ・いったりにたりして、おいしくするくふう ・いったりにたりするくふう <p>4 学習課題を解決する。</p> <p>(1) 一人学びをする。 ～ の段落の小見出しを考えて、表に書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・段落ごとに書かれている内容を確認しながら音読を聞くようにさせる。 ・前時までの学習を振りかえり、段落ごとの大まかな内容を確認する。 ・初めに、 の段落について全員に考えさせ、小見出しのつけ方を学ばせる。その活動を手がかりに、一人学びにつなげていきたい。 ・特に、 の段落は、と同じように考えていけばよいことを確認し、一人学びに入らせる。 ・時間内に全て終わらない場合は、その後ペアや全体での話し合いで考えていくことを知らせる。 ・机間巡視し、個別に支援する。

<p>ふ か め る</p> <p>(37)</p>	<p>(2) 学び合いをする。 自分で考えたことをもとにペアで話し合しましょう。</p> <p>それぞれが考えた小見出しについて、みんなで話し合しましょう。</p> <p>5 課題についてまとめる (1) 学び合ったことを生かして、各段落の小見出しを学習シートに書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ほとんど毎日食べられている大豆 大豆の説明 いったり、にたりするくふう こなにひいて食べるくふう えいようだけを取りだしてちがう食品にするくふう 小さな生物の力をかりてちがう食品にするくふう とり入れる時期や育て方を変えて食べるくふう 多くの食べ方が考えられたわけ 大豆を食事にとり入れてきた人々のちえ</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の考えを紹介しあい、「短く」「書かれている内容に合った」小見出しという観点で検討させる。その際、1つに絞らなくてもよいことを確認する。 ・小見出しは、色画用紙に記入させ、黒板（構成表）に貼らせる。 ・「短く」しかも「書かれている内容に合った」小見出しを見つけるという観点で、話し合いをさせる。その場合、必ずしも1つに絞らず、それぞれのよさも見つけさせたい。 ・前時までの学習を振り返り、各段落の内容を確認する。それぞれの共通点や違い、よさなどを見つけさせる。 ・話し合いをもとに、より適切だと思う小見出しを自分で選ばせたい。 ・形式段落ごとの小見出しを確認する。意味段落についても考えさせることにより、文章全体の構成をつかませたい。さらに、次の学習で、各自文章を書く際にも、生かしていくということを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>おおむね満足できると判断する視点 形式段落ごとに内容に合った小見出しをつけているか。(シート)</p> </div> <p>【支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介された小見出しや全体での話し合いの結果を参考に考えさせる。
<p>ま と め る</p> <p>(5)</p>	<p>6 学習のまとめをする。 (1) 本時の学習を振り返り、自己評価する。</p> <p>7 次時の学習の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の成果を認め、満足感を味わわせる。そして、次時の学習への意欲付けをする。 ・次時からは、身近な食べ物について自分で調べ、文章に書く学習に入ることを確認する。

(4) 評価規準

【読む能力】

段落ごとに、書かれている内容に合った小見出しをつけている。

5 本時の学習（2組）

（1）目標

大豆をおいしく食べる工夫を読みとることができる。

（2）仮説との関連

手立て1に関わって

一人学びで大豆の食品とおいしく食べる工夫を見つけ学習シートに書き入れた後、自分の考えを確かめたり修正したりする場として、ペア学習を取り入れる。

手立て2に関わって

一人学びで読みとったことを整理してまとめるために、学習シートを利用し、食べ方がいくつに分けて書いてあるかを確認する。また、食品の挿絵や写真を用いたりして、語句や文の意味を正しく理解できるようにする。

（3）展開

段落	学 習 活 動	主発問	・ 予想される児童の反応	教師の支援（評価）
つかむ 3分	1 前時の学習内容を想起する。 前の時間は、大豆をおいしく食べる工夫1を読み取りました。 2 本時の学習課題を確認する。 大豆をおいしく食べるくふう2を読み取ろう。			<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時までの学習を思い起こさせるために、壁面掲示を利用し、学習内容を確認する。 ・ 大豆にいろいろ手を加えて、おいしく食べている工夫について学習していくことを確認する。
ふかめる	3 課題解決の見通しをもつ。 （1）学習範囲を音読する。 （P24L3～P25L6） （2）課題解決のための着眼点を考える。 工夫はいくつありましたか。 ・ 3つです。 4 学習課題を解決する。 （1）一人学びをする。 プリントに、おいしく食べる工夫と食品を整理して書きましよう。 （2）学び合いをする。 プリントに書き入れたところをペアで確かめ合いましよう。 （ペア学習） ペアで確かめたことをみんなで考えましよう。 （一斉学習）	段落		<ul style="list-style-type: none"> ・ 一斉読、指名読各1回ずつとする。（視点を与える。） ・ おいしく食べる工夫がどこに書いてあるか、サイドラインを引きながら音読を聞くようにさせる。 ・ 段落1つに1つずつ工夫があることを確認する。 ・ 学習シートへの整理の仕方を確認する。 ・ 短い文でまとめるように指示する。 ・ 理由をつけて話すことができるように支援する。 ・ 話し合ってまとめたことを板書する。

37分	<p>大豆は、どのようにしてすがたをかえるのでしょうか。</p> <p>5 課題についてまとめる。 まとめを書きましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>大豆をおいしく食べるには、えいようだけを取り出すくふう 小さな生物の力をかりるくふう、とり入れる時期や育て方のくふう がある。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・おいしく食べるくふうの 具体例にふれた上で、「え いようだけを取り出す」 「力をかりて」「とり入 れる時期」「育て方」と いう言葉に着目させる。 ・「次に」「さらに」「これ らのほかに」について考 えさせ、段落からのつ ながりがあることを知ら せる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>大豆をおいしく食べ る工夫をまとめること ができたか。 (発言・学習プリント)</p> </div> <p>【支援】 サイドラインを引いた部分 や表にまとめたことをもと にして、まとめさせる。</p>
5分	<p>6 学習のまとめをする。 (1) まとめの音読をする。(一斉読)</p> <p>(2) 本時の学習をふり返り、自己評価する。</p> <p>7 次時の学習の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫の部分を確認なが ら読むようにさせる。 ・学習の成果を認め、満足 感を味わわせる。 ・次時は、大豆のよさや筆 者の感想について読み取 っていくことを知らせる。

(4) 評価規準

【読む能力】大豆をおいしく食べる工夫を読んでまとめている。

(5) 具体の評価規準

- ・おおむね満足できると判断する視点— おいしく食べる工夫や食品について表に整理し、大事な言葉を落とさずに書きまとめている。
- ・努力を要する児童への指導・支援の手立て— 接続語に着目させ、工夫がいくつあるかを押さえさせる。

(6) 評価方法

- ・授業中の発言や様子
- ・学習シート
- ・自己評価

すがたをかえる大豆

かだい

大豆をおいしく食べるくふう2を読み取ろう。

国分 牧衛

また

さらに

これらの
ほかに

			段落
	取り入れる時期や育て方のくふう	目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にする。	大豆をおいしく食べるくふう 大豆にふくまれる大切なえいようだけを取り出す。
もやし	えだ豆	みそ	とうふ なっとう しょうゆ
			食品

食の絵の
品挿や真写

大豆をおいしく食べるには、大豆にふくまれるえいようを取り出すくふう、目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふう、取り入れる時期や育て方のくふうがある。